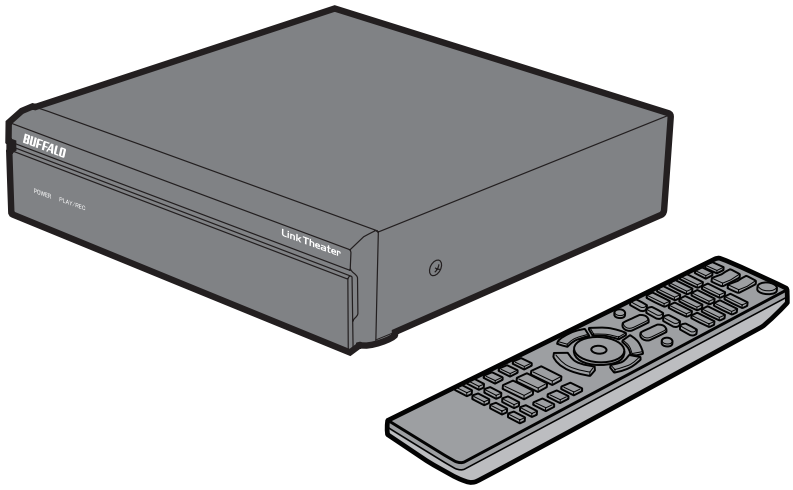
35010728 ver.05

5-01 C10-016

リンク シアター
Link Theater

ビデオプレーヤー

LT-H91 シリーズ
ユーザーズマニュアル



使ってみよう

詳細設定

付録

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク ..... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意してすべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク... ➘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
A: フロッピードライブ
C: ハードディスク
E: CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・文中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。（例）<Enter>

■本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。

■ "AVCHD" 及び "AVCHD" ロゴ は、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

■ BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。LinkTheater™、LinkStation™、TeraStation™ は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは記載していません。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

使ってみよう 2

起動時のファームウェア
アップデート機能について.....2
ブラウザーでホームページを閲覧する3
ブラウザー表示手順.....3
ページ内の文字を検索する.....6
お気に入りの登録 / お気に入り一覧の表示 7
表示履歴一覧の表示.....8
ブラウザーの設定.....9
ネットサービスを楽しむ.....10
RSS/ ポッドキャスト再生機能を使用する 11
「i- フィルター」の設定 12
再生するフォルダーを登録する.....14
データをテレビで再生する.....15
ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する 17
USB ポートに接続した機器から再生する.....18
DVD ISO イメージの再生.....19
ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する.....20
パソコンに移動した録画データを再生する 20
直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する 20
本製品に接続したハードディスクに直接保存する 21
お気に入りフォルダーの登録とアクセス.....24
お気に入りフォルダーの登録.....24
お気に入りフォルダーへのアクセス25
最近再生したコンテンツの再生.....26
最近バックアップしたコンテンツの再生 27
Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには 28
Mac OS 側の設定.....28
本製品側の設定 31
DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する 33
Windows Media Connect サーバーのデータを再生する 34
Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する 34
Wake on LAN 機能への対応について35
LinkStation の PC 連動電源機能への対応について 36
制限事項.....36

詳細設定.....37

本製品の詳細設定 37

付録..... 39

ルーターをお持ちでない方へ
（IP アドレスを手動で設定する手順）39
パソコンの IP アドレスを確認する..39
本製品の IP アドレスを設定する.....41
トランスコーダーについて.....43
ファームウェアのアップデート方法.45
困ったときは 46
用語集 51
仕様.....53
再生できるファイルの種類.....54

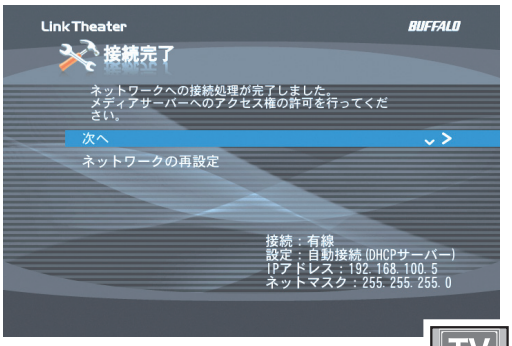
使ってみよう

本製品の使いかたや、設定方法について説明しています。

起動時のファームウェアアップデート機能について

本製品を起動するとき、インターネットに接続している環境であれば自動的にファームウェアを最新版にアップデートします。

LAN ケーブルを接続して本製品の電源を ON にすると、次の画面が表示されます。



テレビの画面 TV

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、テレビ画面に テレビの画面 TV と案内しています。
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

[次へ] を選択し、リモコンの▶ボタンを押すと、ファームウェアのアップデートが開始されます。

ブラウザーでホームページを閲覧する

本製品では、ホームページを次のように表示することができます。

ブラウザー表示手順

1 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[ブラウザー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ リモコンの [機能切換] ボタンを押し、表示されたメニューから [ブラウザー] を選択してもブラウザーを表示することができます。

注意 ブラウザーモードでは、アクトビラポータルサイトにアクセスすることはできません。アクトビラを視聴するときは、左の画面で [アクトビラ] を選択してください。

2 「切り替わるまで 20 秒程度かかります。」と表示されたら、[はい] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

3 ブラウザーでホームページが表示されます。

テレビの画面 TV

※画面はバッファローホームページを表示した例です。

注意
- ページによっては [戻る] 機能が使用できないことがあります。
- ブラウザー動作中はスクリーンセーバー機能は使用できません。

以上でブラウザーの表示は完了です。

ブラウザー表示中は、リモコンのボタンで次の操作をすることができます。

ボタン	動作内容
電源	スタンバイ状態に移行します。
ページ	表示している Web ページを上下にスクロールします。
音量＋ / －	音量を調整します。+ を押すと音量を大きくし、- を押すと音量を小さくします。
消音	音声を消音する / しないを切り換えます。
お気に入り	お気に入り一覧を表示します。
履歴	表示履歴一覧を表示します。
TOP	ホームページとして登録しているページを表示します。
戻る	前のページに戻ります。
方向キー	カーソルを上下左右に移動します。
決定	選択した項目を決定します。
メニュー	操作メニューを表示します。
機能切換	機能切換メニューを表示します。
プレイヤー	ファイル再生モードに戻ります。

ブラウザー表示中にリモコンの [メニュー] ボタンを押すと、次の操作メニューを表示することができます。

テレビの画面 TV

ボタン	動作内容
戻る	前のページに戻ります。
進む	次のページに進みます。
再読み込み	現在のページを再度読み込みます。
中止	ページ読み込みを中断します。
URL 入力	任意の URL を入力してアクセスします。
ホーム	ホームページとして登録しているページを表示します。
お気に入り	現在のページをお気に入りに登録したり、お気に入り一覧を表示したりします。
表示履歴	表示履歴一覧を表示します。
検索	表示中のページから入力した文字を検索します。
設定	ブラウザー設定画面を表示します。
機能切換	機能切換メニューを表示します。

ソフトウェアキーボードでは次の操作をすることができます。

ボタン	動作内容
入力ボックス	入力テキストが表示されます。カーソルで選択するとリモコンの数字ボタンで文字入力できます。
変換候補	入力語句の変換候補が表示されます。方向キーで候補を選択して [決定] ボタンを押すと選択した変換候補が入力できます。
入力切換	[決定] ボタンで選択した文字入力方法に切り換えます。
キーボード	方向キーで入力したい文字を選択して [決定] ボタンで文字を入力します。
←→↑↓	方向キーで入力したい文字を選択して [決定] ボタンで文字を入力します。
削除	入力した文字を一文字削除します。
全削除	入力した文字をすべて削除します。
確定	変換を確定します。
改行	改行します。
中止	キャンセルし、終了します。
完了	入力を確定して終了します。

ページ内の文字を検索する

表示中のホームページから文字検索をするときは、次のように行ってください。

1 操作メニューから、[検索]-[ページ内検索] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

2 入力窓を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 ソフトウェアキーボードで検索したい文字を入力します。

4 [上へ検索] または [下へ検索] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 検索結果が表示されます。

以上でページ内の文字の検索は完了です。

お気に入りの登録 / お気に入り一覧の表示

お気に入りの登録

操作メニューから、[お気に入り]-[お気に入りに登録] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。表示中のページがお気に入りとして登録されます。

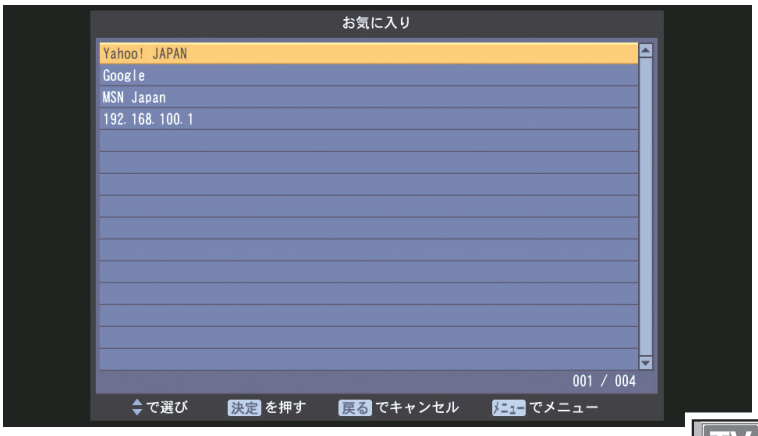
テレビの画面 TV

お気に入り一覧の表示

操作メニューから、[お気に入り]-[お気に入り一覧] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。表示中のページがお気に入りとして登録されます。

テレビの画面 TV

お気に入り一覧画面



テレビの画面 TV

※初期状態では「Yahoo! JAPAN」や「Google」などの Web サイトへのリンクが登録されています。

お気に入り一覧画面でリモコンでできる操作は次のとおりです。

ボタン	動作内容
方向キー	上下でお気に入りを選択します。
決定	選択したお気に入りページにアクセスします。
戻る	お気に入り一覧を閉じます。
メニュー	お気に入り一覧メニューを表示します。

お気に入り一覧メニューからは次のことができます。

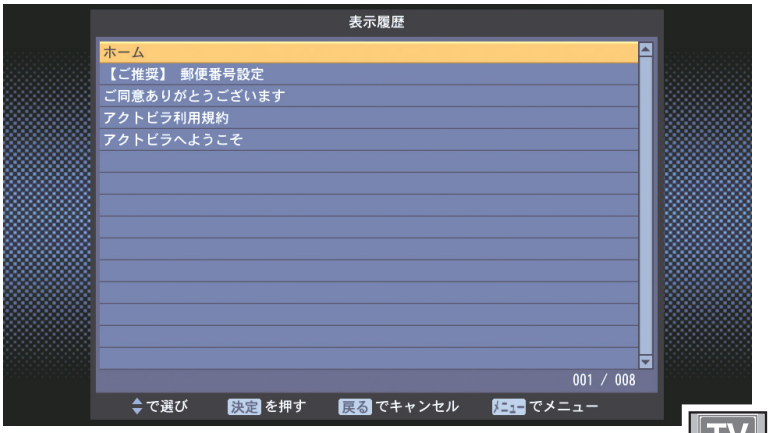
編集	選択したお気に入りのタイトルとアドレスを編集します。
アドレスで表示 / タイトルで表示	お気に入り一覧の表示方法を変更します。
上へ移動	選択したお気に入りをひとつ上に移動します。
下へ移動	選択したお気に入りをひとつ下に移動します。
削除	選択したお気に入りを削除します。
すべて削除	すべてのお気に入りを削除します。

表示履歴一覧の表示

操作メニューから、[表示履歴] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

表示履歴画面



テレビの画面 TV

表示履歴画面でリモコンでできる操作は次のとおりです。

ボタン	動作内容
方向キー	上下で表示履歴を選択します。
決定	選択した表示履歴ページにアクセスします。
戻る	表示履歴一覧を閉じます。
メニュー	表示履歴一覧メニューを表示します。

表示履歴一覧メニューからは次のことができます。

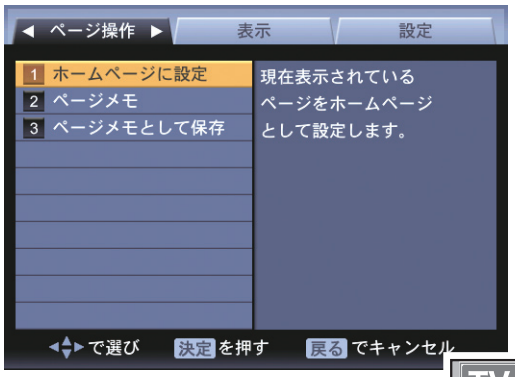
アドレスで表示 / タイトルで表示	表示履歴一覧の表示方法を変更します。
削除	選択した表示履歴を削除します。
すべて削除	すべての表示履歴を削除します。

ブラウザーの設定

操作メニューから、[設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

ブラウザーの設定画面



テレビの画面 TV　ブラウザーの設定画面からは次の操作を行うことができます。

ページ操作

ホームページに設定	現在表示しているホームページを操作メニューの [ホーム] を選択したときに表示するよう設定します。
ページメモ	[ページメモとして保存] で保存したページを表示することができます。
ページメモとして保存	現在表示しているホームページをページメモとして保存します。 ※ホームページの中に大きなファイルが含まれる場合、ページメモとして保存できないことがあります。

表示

表示モード	画面の表示モードを選択します。 **通常：**表示するホームページによってはテレビ画面に収まらないことがあります。 **ジャストフィット：**表示幅に収まるように画像を縮小します。 ※閲覧するホームページによっては正常に表示されないことがあります。 **スマートフィット：**ホームページがテーブルで構成されている場合、テーブルを縦に並び換えて表示幅に収まるようにします。それでも収まらないときは、画像を縮小します。 ※閲覧するホームページによっては正常に表示されないことがあります。
文字サイズ	表示する文字のサイズを [最大][大][中][小][最小] から選択します。
表示倍率	ページの拡大・縮小率を [200%][150%][125%][100%][75%][50%] から選択します。
ページ情報	現在表示しているホームページの情報を表示します。
サーバ証明書	接続しているサーバーの証明書を表示します。

設定

スタートアップ設定	ブラウザーを起動したときに表示する画面を次から選択します。 ・ホームページを表示 ・最後に表示したページを表示
セキュリティ	セキュリティに関する次の設定を行います。 ・保護あり / 保護なしのページ間の移動時に通知する ・使用する SSL のバージョン (SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0 から選択)
Cookie	Cookie 情報の設定を受信する、受信しない、受信前に確認するから選択します。
Cookie を削除する	受信した Cookie 情報を削除します。
キャッシュ	ブラウザーのキャッシュを削除します。
i- フィルターの設定	インターネット有害サイトへのアクセスを制限する「i- フィルター」機能の設定 (使用する / 使用しない / ユーザー ID 等) を行います。
ブラウザ情報	ブラウザーの情報を表示します。

ネットサービスを楽しむ

本製品でネットサービス (テレビ版 Yahoo! JAPAN、TSUTAYA TV、アクトビラ) を視聴することができます。

1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの [TOP] ボタンを押します。

3 [Yahoo! JAPAN][TSUTAYA TV][アクトビラ] から見たいネットサービスを選択してください。

テレビの画面 TV

4 ネットサービスの画面が表示されます。

※操作手順については、別紙「アクトビラ (acTVila) を見てみよう」をご参照ください。[Yahoo! JAPAN][TSUTAYA TV] の場合でも画面で行う操作は同様です。

以上でネットサービスの表示は完了です。

RSS/ ポッドキャスト再生機能を使用する

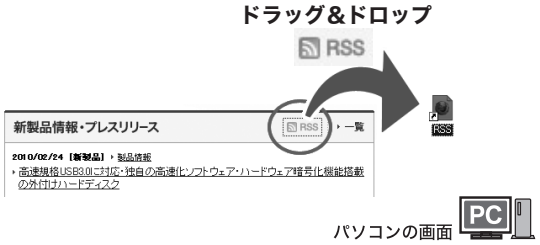
RSS/ ポッドキャスト再生機能を使用すれば、ホームページで配信している画像、動画、音声、テキスト情報等を表示できます。再生手順は次の通りです。

※「RSS」「ポットキャスト」については P.51 に記載の用語集をご参照ください。

1 パソコンのインターネットブラウザーで RSS 配信ホームページの RSS リンクを共有フォルダーや USB メモリー上にインターネットショートカットファイルを作成します。

※ Interner Explorer をお使いの場合は、RSS リンクを共有フォルダーや USB メモリーにドラッグ&ドロップするとインターネットショートカットファイルを作成できます。

弊社ホームページ新製品情報の RSS のショートカットアイコンを作成する例：



2 RSSのショートカットファイルを保存した共有フォルダーやUSBメモリーのフォルダーに本製品からアクセスをします。

※アクセスする手順については、P.17、18 をご参照ください。

バッファローホームページ RSS を USB メモリーに保存し、アクセスした例：

1.[USB 機器] を選択　2.RSS ショートカットファイルを選択　3. ショートカットのリンク先の情報が表示されます。

3 再生したいファイルを選択してリモコンの [再生] ボタンを押します。

⚠注意 RSS/ ポッドキャスト再生機能には、下記の制限があります。

- RSS2.0 のみ対応しています。
- 非対応の言語を含む場合、正常に動作しません。
- 配信元によっては、表示できないことがあります。
- 動画や音声を再生する場合、コマ落ちや音とびが発生することがあります。
- ファイルリストの自動更新には対応していません。

以上で RSS/ ポッドキャストを使用した再生は完了です。

「i- フィルター」の設定

「i- フィルター」の設定をすれば、ブラウザーから有害サイトへのアクセスを防止することができます (防止するサイトのカテゴリなどは設定できません)。設定するときは以下の手順で行ってください。

メモ 「i- フィルター」サービスを利用するには、あらかじめ http://sv.ifuser.jp/vl/ で会員登録 (有償) し、ユーザー ID を入手する必要があります。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

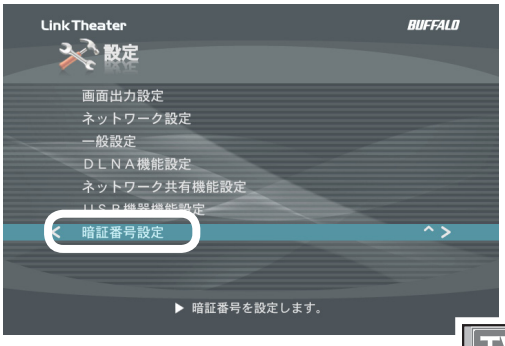
2 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

システムメニューが表示されます。

3 [設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

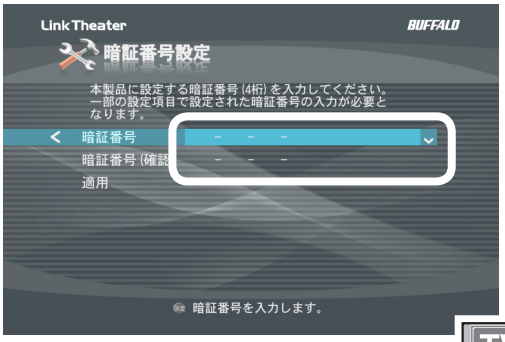
テレビの画面 TV

4 [暗証番号設定] を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。



テレビの画面 TV

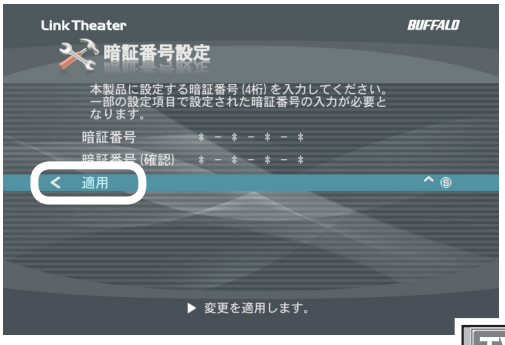
5 リモコンの数字キーで任意の暗証番号を入力します。



テレビの画面 TV

2 回目以降は暗証番号確認画面が表示されます。

6 [適用] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面 TV

i- フィルターで使用する暗証番号が設定されました。

7 リモコンの [ブラウザー] ボタンを押します。

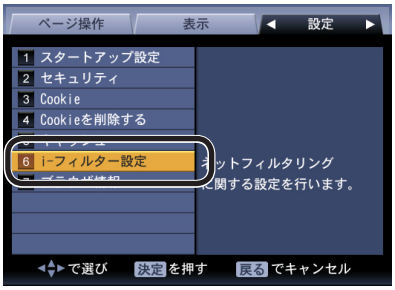
ブラウザーが起動します。

8 リモコンの [メニュー] ボタン押します。

9 メニューから [設定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押します。

テレビの画面 TV

10 [i- フィルター設定] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面 TV

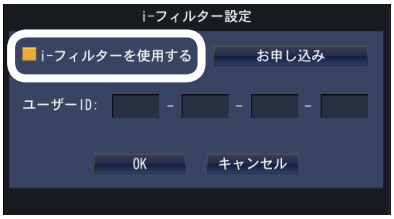
11 暗証番号をリモコンで入力します。

テレビの画面 TV

12 [OK] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

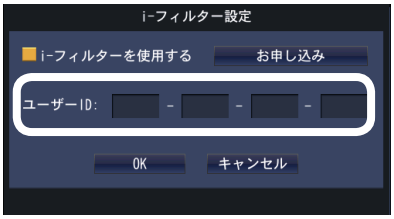
13 [i- フィルターを使用する] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。



テレビの画面 TV

[i- フィルターを使用する] のチェックボックスにチェックマークが表示されます。

14「i- フィルター」のユーザー ID をリモコンで入力します。



テレビの画面 TV

※「i- フィルター」のユーザー ID は、下記ホームページで取得してください。
http://sv.ifuser.jp/vl/

15 [OK] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で「i- フィルター」の設定は完了です。

⚠注意 「i- フィルター」を設定すると下記の制限があります。

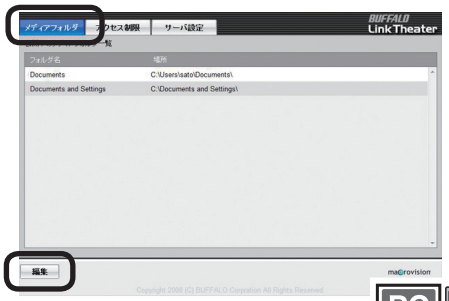
- ブラウザーでインターネットを閲覧するとき、ネットワーク設定で設定したプロキシサーバーが利用できなくなります。
- ローカルネットワークの Web サーバーにアクセスすることができなくなります。
- 「i- フィルター」の設定を適用する際にブラウザーでキャッシュしている Web 認証情報（パスワード制限付き Web ページのパスワード情報）が消去されます。

再生するフォルダーを登録する

本製品でパソコンのファイルを再生するには、パソコンの画面で再生フォルダーを登録してください。

1 **[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[メディアマネージャ] をクリックします。MediaServer2 がブラウザーで起動します。**

2 **[メディアフォルダ] タブを選択し、[編集] をクリックします。**

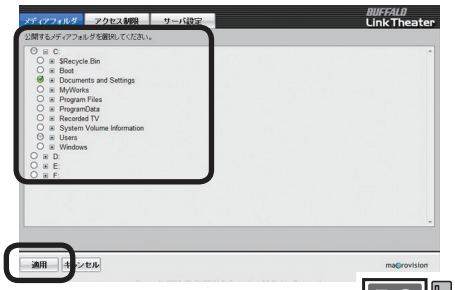


パソコンの画面

※本書では、テレビ画面とパソコン画面のどちらの画面を説明しているのか分かるよう、パソコン画面に パソコンの画面 と案内しています。

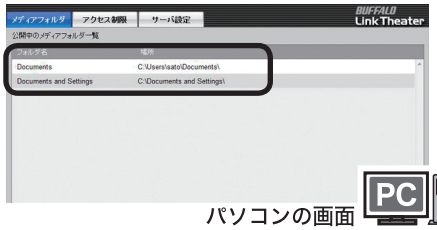
※本書に掲載されている画面は表示例です。お使いの環境によって表示は異なります。

3 **再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、[適用] をクリックします。**



パソコンの画面

4 **追加したフォルダーが表示されます。**



パソコンの画面

メモ 画面を閉じるときは、ブラウザーのタイトルバー右の [×] をクリックしてください。

以上で再生フォルダーの登録は完了です。

メモ MediaServer2 の詳細については、ヘルプをご参照ください。MediaServer2 では、アクセス制限等を設定することもできます。

[スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[MediaServer2]-[MediaServer2 ヘルプ] をクリックすると表示されます。

データをテレビで再生する

次のようにパソコンやサーバーのデータをテレビで再生することができます。

⚠注意・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子からの表示ができる状態にしてください。

・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

1 テレビに表示されているトップ画面(Home Screen)で、[DLNAサーバー]を選択し、リモコンの[決定]ボタンを押します。

テレビの画面 TV

2 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 再生したいジャンル、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの[停止]ボタンを押してください。

メモ・フォルダーを選択してリモコンの[再生]ボタン を押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。

・ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの[メニュー]ボタンを押します。→[DLNA機能設定]→[表示順の変更]→「ソートしない」「タイトル順」「日付順」のいずれかを選択してリモコンの[決定]ボタンを押します。

・HDD レコーダーなどに録画された地上デジタル放送の再生中にリモコンの[字幕]ボタンを押すと字幕を切り換えることができます。

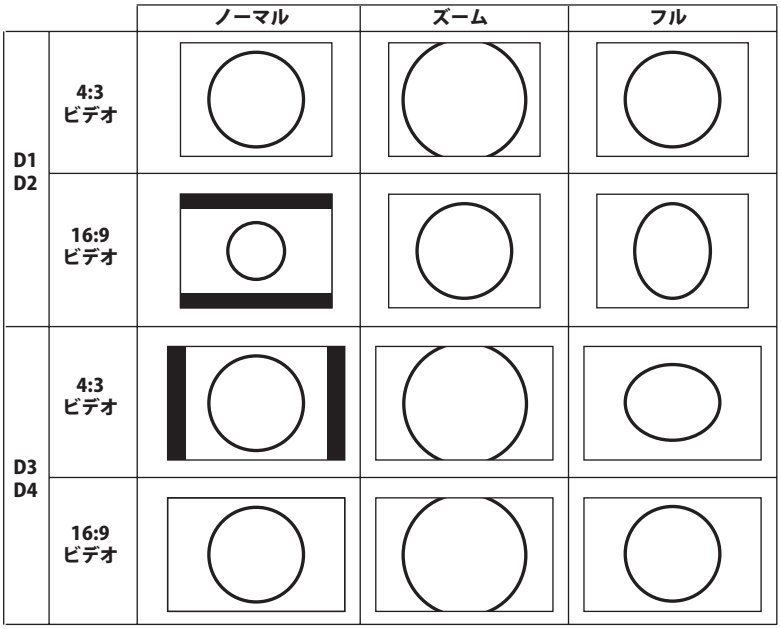
※字幕情報が失われているコンテンツでは表示できません。

以上でデータの再生は完了です。

メモ ビデオ再生中の [ズーム] ボタン操作について

ビデオ再生中にリモコンの [ズーム] ボタンを押すと表示を「ノーマル」「ズーム」「フル」に切り換えることができます。画面の表示のされ方は、お使いのテレビ画面や再生するデータのアスベクト比によって異なります。

※表示を「ズーム」にしているときは、DVD メニューや字幕が正しい位置に表示されません。
※再生するビデオの形式などによっては正しくズームされないことがあります。



ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する

BUFFALO メディアサーバーで設定したフォルダー以外にも、次のように Windows でネットワーク共有フォルダーに設定したフォルダーを検索して再生することもできます。

⚠注意 ・テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。
・ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

1 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ ネットワーク共有フォルダーの検索には数分の時間がかかります。そのままお待ちください。10 分以上待っても応答が無い場合は、本製品の接続を再度ご確認ください。

2 サーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 再生したいフォルダー、ファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

メモ ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→[ネットワーク共有機能設定]→[表示順の変更] →「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

以上でネットワーク共有フォルダーのデータの再生は完了です。

メモ ファイルリストの画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

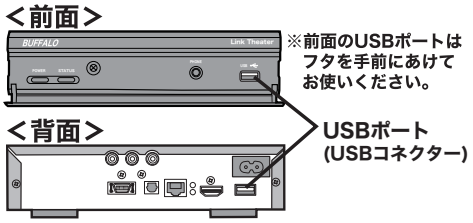
一般設定：
P.38 の一般設定を表示します。
ネットワーク共有機能設定：
P38 のネットワーク共有フォルダー機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：
選択したファイルをお気に入りに追加します。

USB ポートに接続した機器から再生する

本製品の USB ポートに接続した機器から再生する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意
- テレビの入力選択は「ビデオ」にするなど本製品を接続した入力端子から表示ができる状態にしてください。
- ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。
- USB 機器を接続したまま本製品の電源を ON すると USB 機器が認識されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、再度取り付けてください。
- お使いの USB 機器 (複数ポートを持った USB カードリーダーなど) によっては、認識できないことがあります。あらかじめご了承ください。

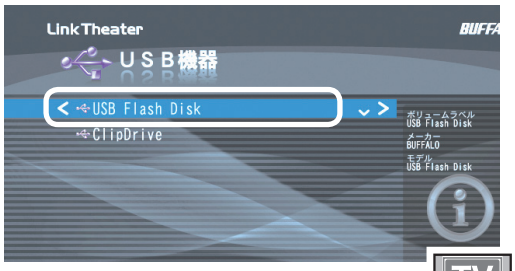
1 本製品の USB ポートに USB ハードディスクまたは USB フラッシュメモリーを接続します。



2 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[USB 機器] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 USB デバイスのボリュームラベルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

4 再生したいファイルやフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

⚠注意 再生中は USB 機器を抜き差ししないでください。本製品のシステムが、停止または再起動をすることがあります。

メモ ファイルリストの表示順序は、次の操作で変更することもできます。

リモコンの [メニュー] ボタンを押します。→ [ＵＳＢ機器機能設定] →［表示順の変更] →「タイトル順」「日付順」「サイズ順」のいずれかを選択してリモコンの [決定] ボタンを押します。

以上で USB ポートに接続した機器からの再生は完了です。

メモ ファイルリストの画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一般設定：
P.38 の一般設定を表示します。
ＵＳＢ機器機能設定：
P.38 の USB 機器機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：
選択したファイルをお気に入りに追加します。

USB 機器を取り外すときは、トップ画面 (Home Screen) を表示してから取り外してください。

DVD ISO イメージの再生

ネットワーク共有フォルダーや本製品の USB ポートに接続したドライブの場合、*.ISO ファイル、または VIDEO_TS/VIDEO_TS.IFO を含むフォルダーを選択して再生することができます。

再生手順は、P.17「ネットワーク共有フォルダーを検索して再生する」、P.18「USB ポートに接続した機器から再生する」をご参照ください。

⚠注意
- **[DLNA サーバー] では、*.ISO ファイルに対応した DLNA サーバー (BUFFALO　MediaServer2 Ver.2.4 以降で対応) からのみ再生することができます。**
- **プロテクトが掛かった DVD は再生できません。**
- **レジューム再生には対応していません。**

ISO ファイルまたは下記のフォルダー構成の場合に再生することができます。

- **DVD タイトル名 .ISO** ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。

- **DVD タイトル名** ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。再生履歴にタイトル名が表示されるようになりますので、この部分で再生することを推奨します。
  - **VIDEO_TS** ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと DVD ビデオとして再生することができます。
    - **VIDEO_TS.IFO** ←このファイルが存在しない場合は DVD ビデオとして認識されません。
    - *****.VOB** ←この項目を選択した状態で「再生」ボタンを押すと ***.VOB ファイルを通常の MPEG-2 ファイルとして再生することができます。
  - **AUDIO_TS**

メモ **再生中にリモコンの次のボタンを押すと、以下の動作をします。**
- **「前 / 次スキップ」 チャプターを切り換えます。**
- **「字幕」 字幕を切り替えることができます。**
- **「出力切換」 アングルを切り替えることができます。**
- **「TOP」 タイトルメニューを表示します。**
- **「メニュー」 ルートメニューを表示します。**

ハイビジョンビデオカメラ録画データを再生する

本製品は、ハイビジョンビデオカメラの録画形式で使われる AVCHD 形式と HDV 形式の両方に対応しています。

メモ 対応ビデオカメラについては、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

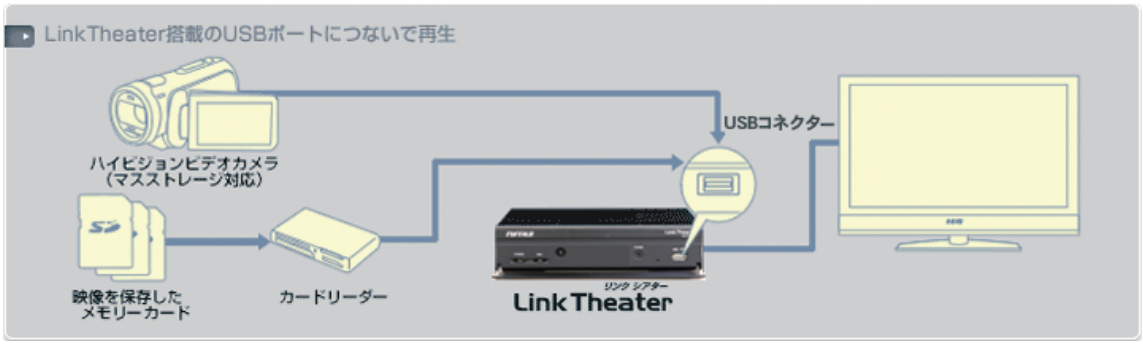
パソコンに移動した録画データを再生する

デジタルビデオカメラで撮った録画データをパソコンの共有フォルダーに移動すれば、本製品からテレビに映像を出力することができます。
再生する共有フォルダーの登録手順は、P.14 をご参照ください。再生手順は P.15 をご参照ください。

直接ビデオカメラを本製品に接続して再生する

ハイビジョン対応のビデオカメラで撮影した映像を、ビデオカメラやメモリーカードに入ったままリビングのテレビで再生することが可能です。本製品の USB ポートにカードリーダーやビデオカメラを直接つないで、撮影したビデオを LinkTheater で再生することができます。
USB ポートに接続した機器からの再生手順は P.18 をご参照ください。

注意 ビデオカメラがマスストレージに対応している必要があります。



本製品に接続したハードディスクに直接保存する

本製品には前面と背面に USB ポートが各 1 個ずつあります。USB ポートにハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、もう一方の USB ポートにハードディスクをつないで、ハードディスクに映像や画像などを直接保存することができます。

ハイビジョンカメラ、デジタルカメラ等　　LinkTheater　　USB 接続ハードディスクまたは LinkStation/TeraStation

■ 対応カメラ
- DCF 規格 (DCIM/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- SD-VIDEO 規格 (SD_VIDEO/ABC001/ABC001.xxx)
- メモリースティックビデオフォーマット (MP_ROOT/100ABCDE/ABCD0001.xxx)
- AVCHD 規格 (AVCHD/BDMV/STREAM/00001.MTS)

■対応ハードディスク
- FAT32 でフォーマットされたもの
- 書き込み可能
- ハードディスクのみ、フラッシュメモリーなどは非対応
- 本製品と同じネットワークに接続されている LinkStation/TeraStation

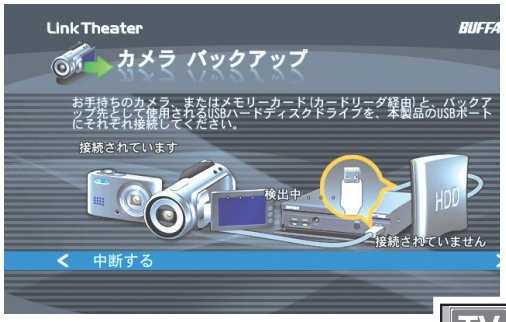
1 テレビに表示されているトップ画面 (Home Screen) で、[カメラバックアップ] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

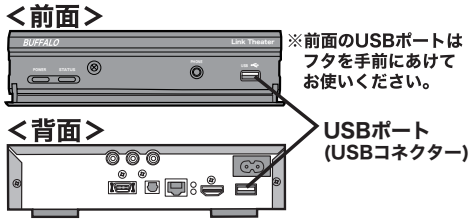
2 バックアップ先が、USB ハードディスクか、LinkStation/TeraStation かを選択し、▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 画面の指示にしたがって、カメラとハードディスクを接続します。



テレビの画面 TV



メモ
- 上記の画面は、手順 2 で USB ハードディスクを選択した場合の画面です。LinkStation/TeraStation を選択の場合、画面の指示にしたがってバックアップ先の共有フォルダーを選択してください。
- 複数台のカメラやハードディスクが接続されていると、カメラおよびハードディスクの選択画面が表示されます。画面の指示にしたがってバックアップしたいデータが入っているカメラ、バックアップ先に使用したいハードディスクを選択してください。

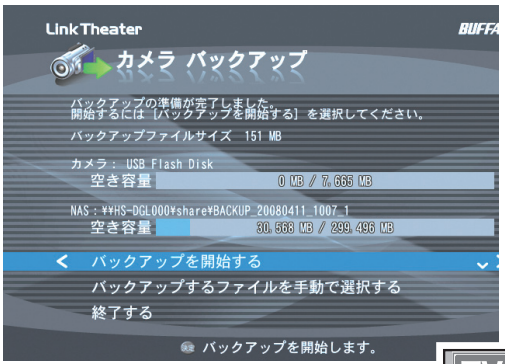
メモ カメラ側の設定をマスストレージモードに変更する必要があります。変更の方法はカメラに付属のマニュアルをご参照ください。手順例は次の通りです。

■ ソニー製 HDR-SR1 の例
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 機能選択）で、[パソコン接続] を選択します。
※ハードディスクに録画した場合と、メモリースティックに録画した場合で選択するボタンは異なります。詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ サンヨー製 Xacti DMX-HD1000 の例
【液晶を閉じた状態でクレードルに設置している場合】
1．USB ケーブルを接続します。
2．クレードルのボタンを押します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。
【液晶を開いている場合】
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面（USB 接続）で [パソコン] を選択します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

■ ビクター製 Everio GZ-MG330 の例
1．ビデオカメラの電源を ON にします。
2．USB ケーブルを接続します。
3．ビデオカメラの設定画面で [パソコンで見る] を選択します。
詳しくはカメラに付属のマニュアルをご参照ください。

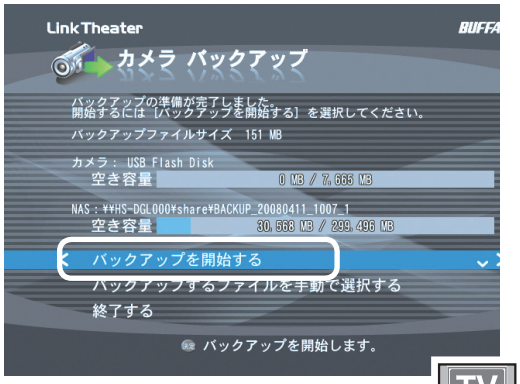
4 バックアップファイルの検出が完了すると次の画面が表示されます。



テレビの画面

メモ 画面には、バックアップするファイルサイズ、バックアップ先の空き容量等が表示されます。
表示されているディスク領域の青い部分は空き領域です。

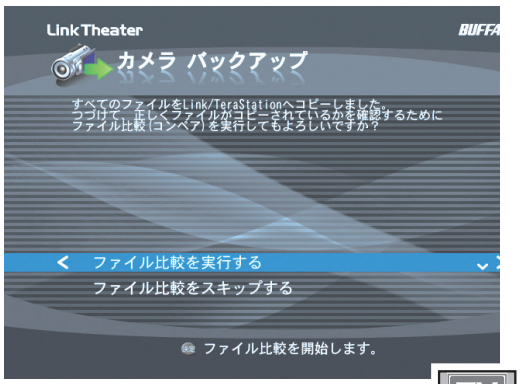
5 [バックアップを開始する]を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面

メモ [バックアップするファイルを手動で選択する] を選択すると、バックアップするファイルやフォルダーを選ぶことができます。
フォルダーを選択した場合、フォルダー内の全てのファイルがバックアップされます。空のフォルダーはバックアップされません。ファイル選択画面で、一番上のディレクトリから、リモコンの ◀ ボタンを押すと再度バックアップファイル検出中の画面になります。

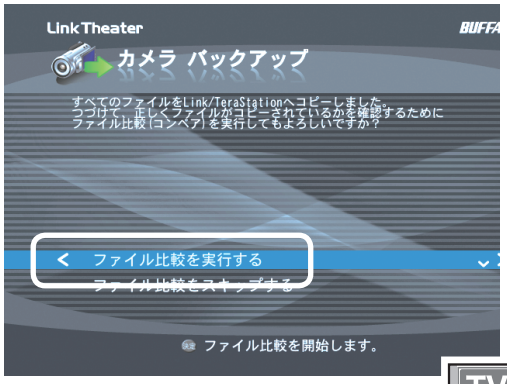
6 バックアップが完了すると次の画面が表示されます。



テレビの画面

メモ バックアップファイルは、下記フォルダーにバックアップされています。
例）BACKUP_20080201_1224
※ BACKUP_ の後に表示される文字は、バックアップするファイルの中で一番新しいタイムスタンプの日時となります。

7 [ファイル比較を実行する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

メモ ファイル比較とは、バックアップしたファイルと元のファイルを比較してバックアップが正常に完了したかを確認するための処理です。確認が不要な方は、[ファイル比較をスキップする] を選択してください。

8 [終了する] 選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

以上で保存は完了です。
保存したUSBハードディスクのデータを再生するときは、P18をご参照ください。

お気に入りフォルダーの登録とアクセス

お気に入りの動画・音楽・写真データのフォルダーを登録することができます。お気に入り機能の使い方は以下の手順になります。

お気に入りフォルダーの登録

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 表示されたサーバーの一覧から、接続したいサーバーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 お気に入りに登録したい、フォルダー・ファイルを選択し、リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

5 [選択した項目をお気に入りに追加] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

以上でお気に入りフォルダーの登録は完了です。

お気に入りフォルダーへのアクセス

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [マイフォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 [お気に入り] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 アクセスしたいフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ
- お気に入りに登録したフォルダーを削除するには、リモコンの [メニュー] ボタンを押し、表示されたメニューから [お気に入りから削除] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。
- フォルダーを選択してリモコンの [再生] ボタンを押すと、フォルダーの中のファイルが連続再生されます。

以上でお気に入りフォルダーへのアクセスは完了です。

最近再生したコンテンツの再生

最近再生した動画・音楽・写真データの履歴から簡単にまた再生することができます。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [マイフォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 [最近再生したコンテンツ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

以上で最近再生したコンテンツの再生は完了です。

最近バックアップしたコンテンツの再生

トップ画面の [カメラバックアップ] で過去にバックアップしたコンテンツをリストから簡単にアクセスすることができます。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

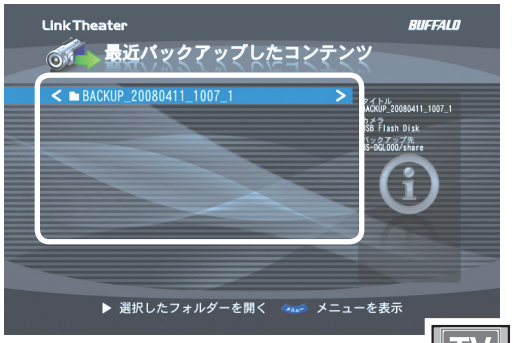
2 [マイフォルダー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 [最近バックアップしたコンテンツ] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 再生したいファイルがあるフォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

5 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの [停止] ボタンを押してください。

メモ

リモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一覧から1件削除
一覧から選択したフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

一覧から全件削除
一覧からすべてのフォルダーを削除します。実ファイルは削除されません。

以上で最近バックアップしたコンテンツの再生は完了です。

Mac OS X の共有フォルダーにアクセスするには

Mac OS X に共有フォルダーを設定すると、本製品から共有フォルダーの動画・音楽・写真データを再生することができます。

Mac OS 側の設定

＜Mac OS X 10.5 の例＞

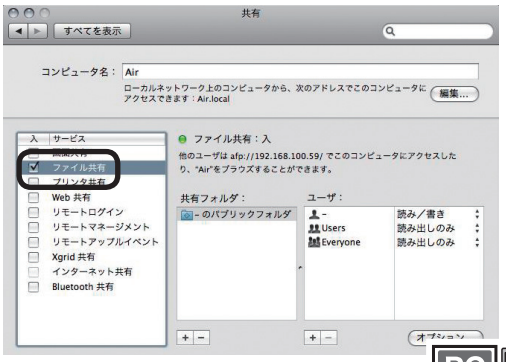
1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

パソコンの画面

2 [共有] をクリックします。

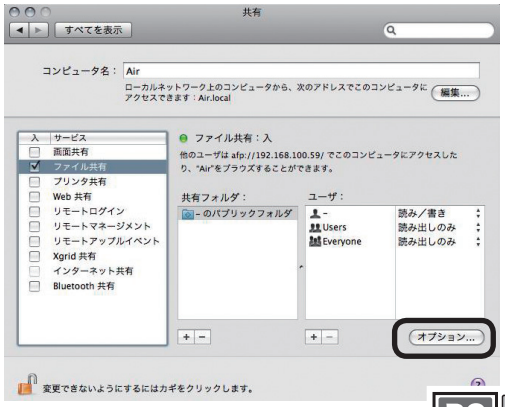
パソコンの画面

3 [ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



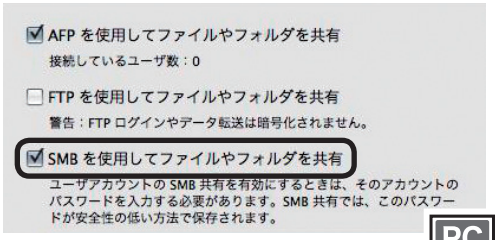
パソコンの画面

4 [オプション ...] をクリックします。



パソコンの画面

5 [SMB を使用してファイルやフォルダを共有] をクリックします。



パソコンの画面

6 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。

パソコンの画面

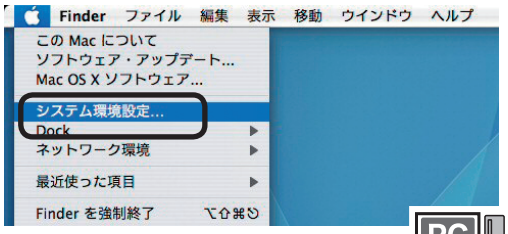
7 [完了] をクリックします。

パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

＜Mac OS X 10.4 の例＞

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

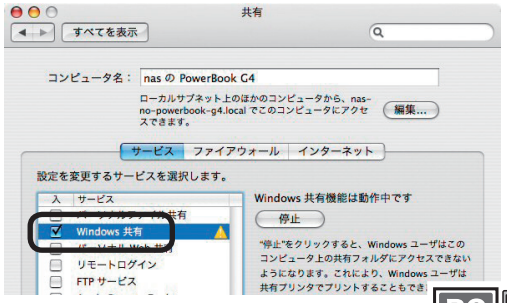


パソコンの画面

2 [共有] をクリックします。

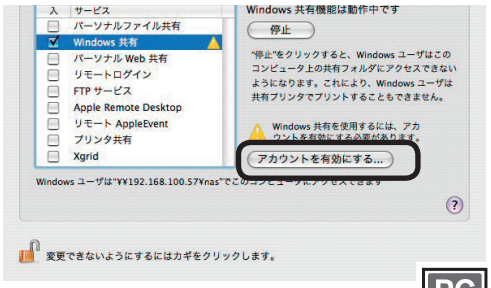
パソコンの画面

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



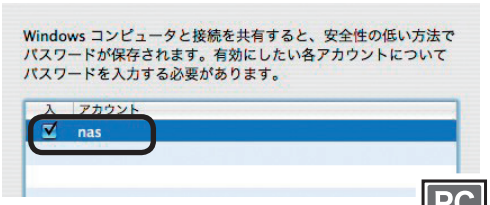
パソコンの画面

4 [アカウントを有効にする ...] をクリックします。



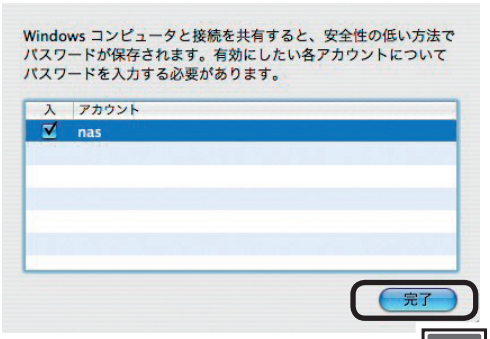
パソコンの画面

5 共有するアカウントを選択します（パスワードの入力画面が出るのでアカウントのパスワードを入力します）。



パソコンの画面

6 [完了] をクリックします。

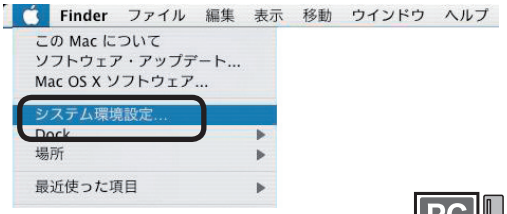


パソコンの画面

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

＜Mac OS X 10.3 の例＞

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

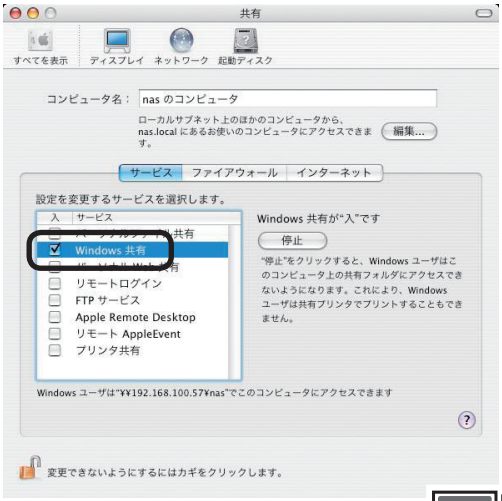


パソコンの画面 PC

2 [共有] をクリックします。

パソコンの画面 PC

3 [Windows 共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。



パソコンの画面 PC

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

＜Mac OS X 10.2 の例＞

1 アップルメニューから [システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [システム] 欄にある [アカウント] をクリックします。

3 ログインに使用するアカウントをリストから選択して、[ユーザを編集 ...] をクリックします。

4 パスワードを入力し、[ユーザが Windows からログインするのを許可する] を選択して、[保存] をクリックします。

5 [OK] をクリックします。

6 [すべてを表示] をクリックします。

7 [インターネットとネットワーク] 欄の [共有] をクリックします。

8 [Windows ファイル共有] をクリックし、チェックボックスにチェックマークを表示させます。

以上で本製品から Mac OS X のホームフォルダーにアクセスするための準備が完了です。

※ Mac OS X 10.2 より前の Mac OS のホームフォルダーにアクセスすることはできません。

本製品側の設定

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

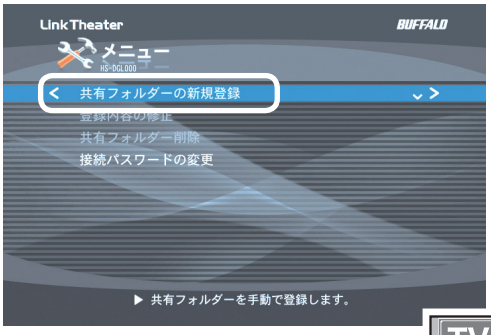
2 [ネットワーク共有] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 [共有フォルダーの新規登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



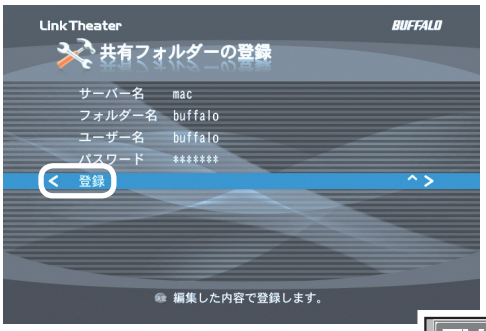
テレビの画面 TV

5 サーバー名（またはサーバーの IP アドレス）、共有フォルダー名（MAC の場合は選択したアカウント名と同じです）、ユーザー名、パスワードを入力します。

テレビの画面 TV

メモ 日本語などの 2 バイト文字を入力することはできません。

6 [登録] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

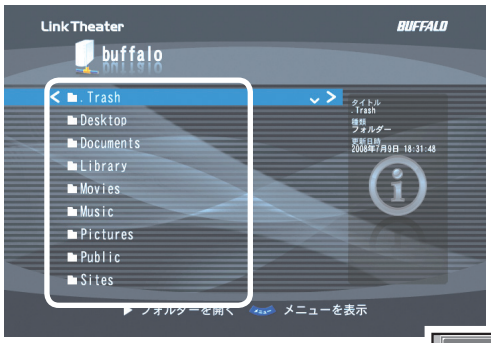


テレビの画面 TV

7 登録した共有フォルダーを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

8 再生したいファイルを選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

選択したファイルが再生されます。再生を停止するには、リモコンの停止ボタンを押してください。

以上で Mac OS X の共有フォルダーにあるファイルの再生は完了です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する

DLNA(Digital Living Network Alliance) について

DLNA（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）は、デジタル機器 (パソコン・家電・モバイル機器など) の相互接続環境を実現するために業界標準技術の製品設計ガイドライン「ホーム・ネットワーク・デバイス・インターオペラビリティ・ガイドライン」を定めています。

本製品は、DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生することができます。弊社製 DLNA 対応 LinkStation/TeraStation については、弊社ホームページ (buffalo.jp) にてご確認ください。
LinkTheater のサーバー選択画面で、DLNA 対応メディアサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P.15「データをテレビで再生する」と同様です。

DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生するには、メディアサーバーの設定画面でメディアサーバー機能を有効にしてください。設定方法については、メディアサーバーのマニュアルをご参照ください。

メモ ファイルリストの画面でリモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

一般設定：P.38 の一般設定を表示します。
DLNA 機能設定：P.38 の DLNA 機能設定を表示します。
選択した項目をお気に入りに追加：選択したファイルをお気に入りに追加します。

Windows Media Connect サーバーのデータを再生する

Windows Media Connect について

Windows XP で Microsoft Windows Media Connect をインストールすると、パソコンに保存している音楽、写真、ビデオを、UPnP プロトコルを使用して本製品で再生することができるようになります。
Windows Media Connect は、Windows Update([カスタムインストール]-[ソフトウェア用の更新プログラムを追加で選択]) よりインストールすることができます。

本製品は、Windows Media Connect がインストールされた Windows XP パソコンのデータを再生することができます。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media Connect サーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P.15「データをテレビで再生する」と同様です。

Windows Media DRM で著作権管理されたコンテンツを再生する

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM) は、コンピューター、デジタル オーディオ プレーヤー、またはネットワークデバイスで再生する場合、コンテンツを保護し、安全に配信するプラットフォームです。

Windows Media DRM は、Windows Media Connect サーバーと付属の BUFFALO メディアサーバーに対応しています。
LinkTheater のサーバー選択画面で、Windows Media DRM に対応しているサーバーを選択し、リモコンの [決定] ボタンを押してください。LinkTheater での操作手順は、P.15「データをテレビで再生する」と同様です。
※ Windows Media Player は最新のバージョンをお使いください。
※サーバーとなるパソコンであらかじめ再生し、ライセンスを取得しておく必要があります。
※ Windows 2000 には対応していません。
※ DRM の保護レベルによっては、再生できないことがあります。
※コンテンツによっては、ビデオ出力は 480i となります。

⚠注意 D 端子をコンポーネントに変換して出力している場合、解像度が 480i(NTSC 4x3) に変更された際に画面が表示されなくなる場合があります。このようなときは、テレビの表示解像度を 480i(NTSC 4x3) に変更してください。設定方法については、テレビのマニュアルをご参照ください。

Wake on LAN 機能への対応について

本製品は、DLNA 対応のハードディスクレコーダーなどの Wake on LAN 機能に対応しております。
スタンバイ状態にした DLNA 対応機器を、本製品の設定画面の DLNA サーバー一覧画面から選択するだけで、Wake on LAN 機能により DLNA 対応機器が起動しアクセスできるようになります。
※ DLNA 対応機器が Wake on LAN 機能に対応している必要があります。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 [DLNA サーバー] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

3 Wake on LAN 対応の DLNA 対応機器選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ
- 過去に検出した DLNA 対応機器は画面に記録されています。記憶されていても検出されなかった DLNA 対応機器は、未検出サーバーとして灰色の文字で表示されます (過去にアクセスしていない DLNA 対応機器は表示されません)。
- DLNA 対応機器に接続できなかった場合、Wake on LAN 信号を送信して DLNA 対応機器が起動するまで「待ち状態」に入ります。「待ち状態」をキャンセルしたいときは、リモコンの方向キー◀ボタンを押してください。
- リモコンの [メニュー] ボタンを押すとメニュー画面が表示され、次の操作を行うことができます。

選択サーバーを一覧から削除
サーバー一覧画面で選択した灰色の文字の未検出サーバーを 1 件削除します。
未検出サーバーを一覧からすべて削除
サーバー一覧画面に表示されているすべての灰色文字の未検出サーバーを削除します。
MAC アドレス
Wake on LAN 信号に使用する DLNA 対応機器の MAC アドレスを変更します (通常は自動的に認識されます。実際の DLNA 対応機器の MAC アドレスとは異なる場合のみこちらから変更します。)

> イーサネットコンバーターをご利用の場合、DLNA 対応機器の Mac アドレスが正しく認識できず、Wake on LAN に失敗することがあります。その場合は正しい MAC アドレスに変更してください。MAC アドレスの確認方法は DLNA 対応機器のマニュアルをご参照ください。

以上で Wake on LAN 機能対応の DLNA サーバーへのアクセスは完了です。

LinkStation の PC 連動電源機能への対応について

本製品は LinkStation の PC 連動電源機能 (パソコンの電源 ON/OFF に合わせて、自動的に LinkStation の電源を ON/OFF する機能) に対応しています。
LinkStation が接続されているネットワークのパソコンを全て電源 OFF、および本製品の電源を OFF(スタンバイ) にすると、自動的に LinkStation の電源が OFF になります。

⚠注意
- **本製品の電源ケーブルを抜くなどして電源 OFF にした場合は、正常に PC 連動電源機能が動作しません。本製品付属のリモコン、または本製品前面の電源ボタンで OFF(スタンバイ) にしてください。**
- **PC 連動電源機能で LinkStation の電源を OFF にするには、本製品に LinkStation を登録する必要があります。登録は、LinkStation と本製品の電源を ON にして同じネットワークに 5 分程度接続していれば自動で行なわれます。もし本製品の電源と LinkStation の電源がうまく連動しないときは、一度 LinkStation 内の共有フォルダーにあるファイルを再生してください。LinkStation 内の共有フォルダーに本製品からアクセスすると、LinkStation が本製品に登録されます。再生手順については、P.33「DLNA 対応メディアサーバーのデータを再生する」をご参照ください。**

制限事項

本製品でパソコンが認識できないときは

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品でパソコンが認識できないことがあります。このようなときは、ファイアウォール機能を無効にするか、ポートの使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトウェアをアンインストールしてください。【P.47】

詳細設定

本製品の詳しい設定のしかたについて説明しています。

本製品の詳細設定

本製品の詳細設定を説明します。

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

テレビの画面 TV

2 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

3 システムメニューが表示され、各項目の詳細設定を行うことができます。

・システムメニュー

[機器情報]
メディアプレーヤーの名称やバージョンを知ることができます。

[アップデート]
バージョン、シリアル番号を確認できます。[アップデートの確認と実行] では、本製品のファームウェアをアップデートすることができます (本製品がインターネットに接続されている必要があります)。【P.45】

[設定]

画面出力設定

[出力モード] では、表示解像度・表示画面の縦：横の比率を指定します。

NTSC 4x3 (標準)
↓
480p 4x3
↓
1080i 16x9
↓
720p 16x9
↓
(NTSC に戻る)

※指定したモードで 10 秒間ビデオ出力が行われます。その間にリモコンの［10/0］ボタンを押して決定してください。[決定] されない場合は指定前のモードに戻ってビデオ出力を行います。

※リモコンの [出力切換] ボタンを押すことでも、モードを切り換えることができます。

⚠注意 ビデオファイルの再生中は、リモコンで出力切換を行うことはできません。

ネットワーク設定

[ネットワーク情報] では、本製品が接続されているネットワークの状態を表示します。

[ネットワーク接続] では、ネットワークへの接続方法を設定します。

自動接続 (DHCP サーバー) : ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合に自動的に IP アドレスを割り当てます。

手動設定 : 手動で、IP アドレス、サブネットマスクを入力することもできます。

[プロキシ設定] では、プロキシサーバーの IP アドレス、ポート番号を指定します。

一般設定

スクリーンセーバー

何も操作しなかったときにテレビ画面にスクリーンセーバーを起動する時間 (15 秒～ 10 分、なし) を設定できます。

写真表示間隔

写真ファイルをテレビ画面に表示する時間 (3 秒～ 2 分) を設定できます。

写真タイトル

写真スライドショーの時の写真ファイル名の表示を設定します。
[表示する] を選択すると、ファイルが切り替わったときに写真タイトルを自動表示します。
[操作時のみ表示] を選択すると、手動でファイルを切り替えた時のみ写真タイトルを表示します。
[表示しない] を選択すると、常に写真タイトルを表示しません。

LED ディマー

本製品前面の LED の明るさを 10 段階 (1 ～ 10) で設定できます。

キー操作音

リモコンキーの操作音 (大、中、小、切) を設定できまきます。

S/PDIF パススルー

S/PDIF でアンプに接続したとき、ファイルの音声形式が Dolby Digital または AAC の場合、PCM に変換せずにそのまま出力するよう選択することができます。

スキップ時間 (戻る)

[10 秒戻し] ボタンを押したときのスキップ時間を変更します (10 秒～ 5 分)。

スキップ時間 (進む)

[30 秒送り] ボタンを押したときのスキップ時間を変更します (10 秒～ 5 分)。

タイトルジャンプ

[無効にします] を選択すると、DVD ビデオなど数字ボタンの動作が、タイトルジャンプになるビデオでも割合ジャンプが使用できるようになります。

DLNA 機能設定

連続再生

[オン] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更

DLNA でのファイルの表示順序を、[ソートしない][タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)] から選択できます。

ネットワーク共有機能設定

連続再生

[オン] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更

ネットワーク共有フォルダーでのファイルの表示順序を、[タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)][サイズ順 (昇順)][サイズ順 (降順)] から選択できます。

ＵＳＢ機器機能設定

連続再生

[オン] にすると、同じフォルダーにあるファイルを順次連続再生するよう設定されます。

表示順の変更

USB 機器でのファイルの表示順序を、[タイトル順 (昇順)][タイトル順 (降順)][日付順 (昇順)][日付順 (降順)][サイズ順 (昇順)][サイズ順 (降順)] から選択できます。

[設定初期化] では、[続き : すべてをリセットします] を選択すると、本製品を出荷時設定に戻します。

暗証番号設定

「i- フィルター」を使用する際に必要な暗証番号を設定します。

任意の暗証番号を入力し、[適用] を選択します。

2 回目以降は暗証番号確認画面が表示されます。

付録

ルーターの無い環境での手動設定手順、トランスコーダーの使用方法、ファームウェアのアップデート方法、困ったときは、仕様について説明しています。

ルーターをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ここでは、パソコンの IP アドレスを確認し、本製品の IP アドレスを手動で設定する手順を説明します。付属ソフトウェアをインストールしたパソコンを認識しないときや、インターネットをお使いの環境でルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合のみ行ってください。

メモ **画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。**

パソコンの IP アドレスを確認する

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

［スタート］－［(すべての) プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を選択します。

2 画面に「C:¥>」と表示されます。「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」欄に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

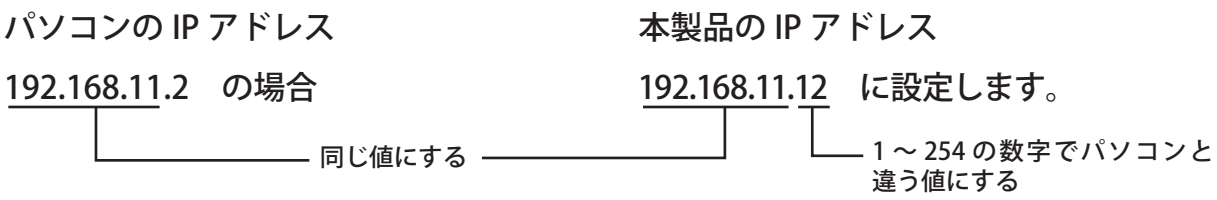
```
C:¥>IPCONFIG /ALL
Ethernet adapter ローカルエリア接続
IP address                          : 192.168.11.2
Subnet Mask                         : 255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix    :
Description                         : BUFFALO LGY-PCI-TXD Ethernet Adapter
Physical Address                    :
DHCP Enabled                        : Yes
Default Gateway                     : 192.168.0.1
DNS Servers                         : 192.168.0.1
```

確認

以上でパソコンの IP アドレス確認は完了です。
続いて P.41 の手順で本製品の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。
本製品に設定する IP アドレスやサブネットマスクの値は、P.40 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

本製品の IP アドレスには、以下のような値を設定します。



本製品に設定するサブネット

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

本製品の IP アドレスを設定する

1 本製品の電源ボタンを押して本製品を起動します。

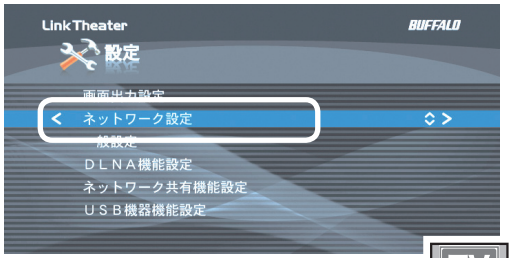
テレビの画面 TV

2 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

3 [設定] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面 TV

4 [ネットワーク設定] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

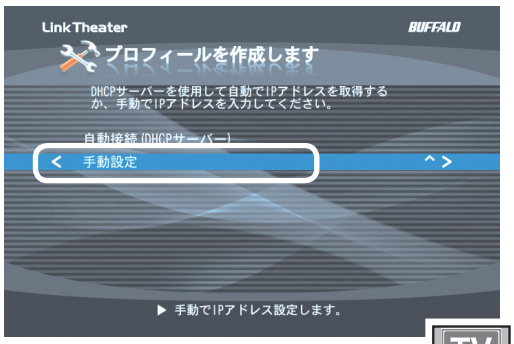


テレビの画面 TV

5 [ネットワーク接続] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

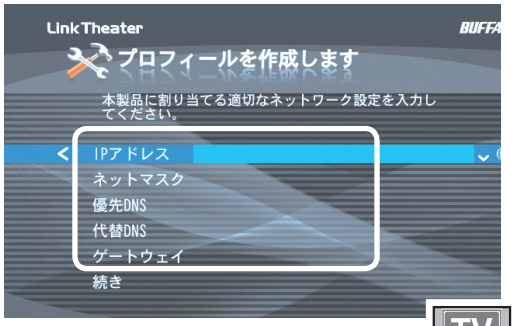
テレビの画面 TV

6 [手動設定] 選択し、方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

7 IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイを入力し、[決定] ボタンを押します。



テレビの画面

注意 IP アドレスがパソコンの値と重複しないようにしてください。設定する値が分からないときは、P.40 の「本製品に設定する IP アドレスの値は？」と「本製品に設定するサブネットマスクの値は？」を参照してください。

例：パソコンの IP アドレスが「192.168.11.2」サブネットマスクが「255.255.255.0」の場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.12」サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定します。

メモ IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバー、ゲートウェイは、リモコンのテンキーで入力します。「. (ピリオド)」は、[1] ボタンを 2 回連続して押すことで入力できます。

8 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

9 [続き] を選択し、方向キー▶ボタンを押します。

テレビの画面

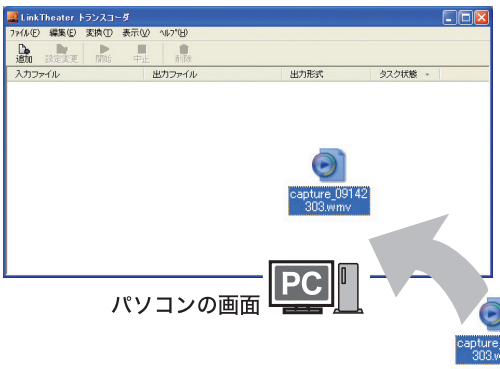
以上で本製品の IP アドレスの設定は完了です。

トランスコーダーについて

本製品でお手持ちの動画ファイルが再生できなかったり、映像が滑らかに再生できないときは、あらかじめ付属のトランスコーダーで MPEG2 ファイルにデータを変換します。

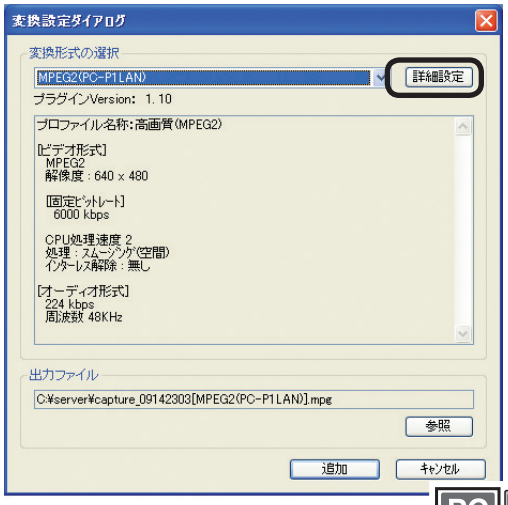
1 [スタート]-[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[LT-H90 シリーズ]-[トランスコーダ]-[トランスコーダ] をクリックします。

2 変換したいファイルをドラッグ＆ドロップします。



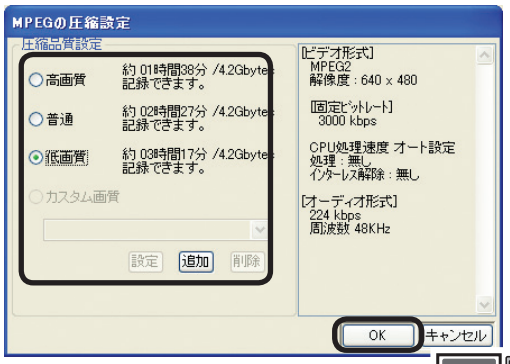
パソコンの画面

3 [詳細設定] をクリックします。



パソコンの画面

4 圧縮品質を選択 (「高画質」を選択しても 8Mbps 以下となります) し、[OK] をクリックします。



パソコンの画面

お好みの画質を個々に詳細の設定をしたいときは、[追加] をクリックし、詳細項目を設定してください。設定した項目は、[カスタム画質] として選択できるようになります。

設定できる項目は次の通りです。

調整モード

調整モードを固定ビットレート（CBR)、可変ビットレート（CVBR)、固定品質（CQ）から選択します。各モードの特徴は、「用語集」(P.51) を参照してください。また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。

ビットレート

設定する値が大きいほど映像がきれいになりますが、MPEG2 形式に変換後のファイル容量も大きくなります。設定可能範囲は 192 ～ 8000(kbps) です。

調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。

最大ビットレート

MPEG2 形式に変換する際の最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値～ 8000(kbps) です。

最小ビットレート

MPEG2 形式に変換する際の最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192(kbps) ～上項目の「ビットレート」の値です。

高圧縮高画質

調整モードで「固定品質」を選択した場合のみ設定できます。スライドバーをドラッグして画質を設定します。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質となります。

インターレス解除

ボブに設定すると、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。

メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。

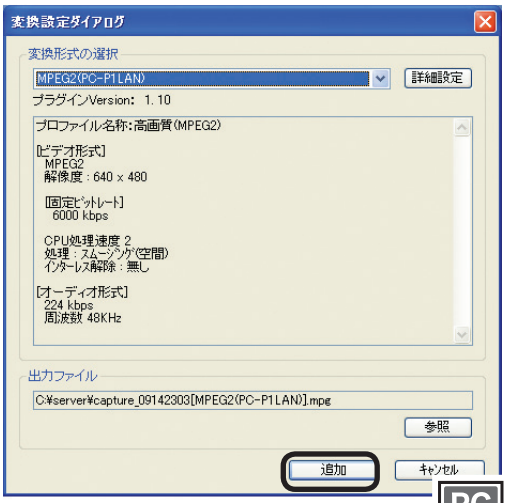
CPU 処理速度

値が高いほど画質が向上しますが、CPU（パソコン）にかかる負荷が大きくなります。通常は、0 ～ 2 の値を使用してください。

オーディオビットレート

ビットレートは高ければ高いほど音質は良くなりますが容量も大きくなります。

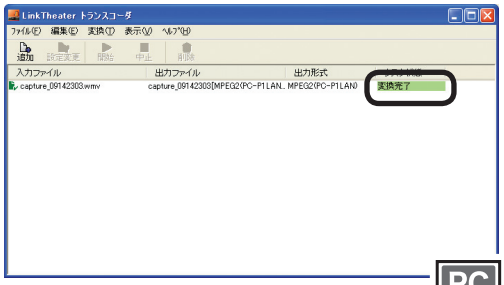
5 [追加] をクリックします。



パソコンの画面

メモ [出力ファイル]-[参照] をクリックすれば、変換後のファイルの保存先、ファイル名を指定することができます。初期設定では、変換元ファイルと同じ場所、ファイル名末尾に [MPEG2(PC-P1LAN)]_000 を追加して保存します (000 は同一名ファイルを複数回変換したときカウントアップされた番号となります)。

6 [タスク状態] が、[変換待ち] →[変換中] →[変換完了] と表示されます。



パソコンの画面

メモ 変換を中止するには、[中止] をクリックしてください。中止したファイルを変換するには [開始] をクリックしてください。

以上でデータの変換は完了です。

ファームウェアのアップデート方法

本製品のファームウェア（内部ソフトウェア）をアップデートする手順を説明します。

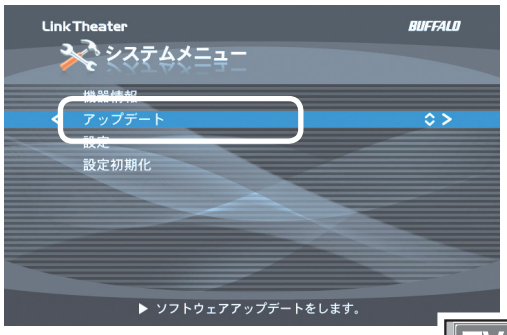
⚠注意
- ファームウェアのアップデートをするには、本製品からインターネットに接続できる環境が必要です。本製品と接続したルーターやエアステーションがインターネットに接続されていることを確認してください。
- アップデート中は、本製品の電源を切らないでください。また、ボタン操作も行わないでください。アップデートは通常 5 ～ 10 分で完了しますが、お使いのネットワーク環境（ネットワーク回線が込み合っている場合など）によっては 40 分程度かかることがあります。

1 本製品の電源を入れます。

テレビの画面 TV

2 リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

3 [アップデート] を選択し、リモコンの方向キー▶ボタンを押します。



テレビの画面 TV

4 [アップデートの確認と実行] を選択し、リモコンの [決定] ボタンを押します。

テレビの画面 TV

メモ すでに最新のファームウェアが搭載されていた場合、「アップデート情報はありません」と表示されます。

以上でファームウェアのアップデートは完了です。

困ったときは

電源が入らない

原因①：
電源ケーブルがコンセントまたは本製品から外れている
対策①：
電源ケーブルはコンセントおよび本製品に接続してください。

映像や音声が出ない

原因①：
テレビの接続が間違っている
対策①：
正しく接続してください

原因②：
入力を正しく選択していない
対策②：
テレビの入力を「ビデオ」にするなど、本製品を接続した入力を選択してください。

原因③：
本製品やテレビのミュート (消音) が有効になっている
対策③：
リモコンの [ミュート] ボタンを押して消音機能を無効にしてください。テレビの消音機能を無効にする手順はテレビに付属のマニュアルを参照ください。

原因④：
DirectX が破損している、または削除されている
対策④：
付属の CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから [DirectX のインストール] を選択してください。以降が画面のメッセージにしたがって DirectX を再インストールしてください。

原因⑤：
本製品の表示解像度、縦横比率と接続しているテレビが合っていない
対策⑤：
P.37 に記載の「画面出力設定」と異なるテレビを接続しても映像は表示されません。表示解像度、縦横比率に合ったタイプのテレビに接続してください。

リモコンで操作できない

原因①：
電池が入っていない
対策①：
電池をリモコンにセットしてください

原因②：
電池が消耗している
対策②：
新しい電池と交換してください

原因③：
電池の入れ方が間違っている
対策③：
電池の極性（+、−）を確認して、正しく入れてください

原因④：
リモコンをテレビに向けている
対策④：
リモコンは本製品に向けて操作してください。

原因⑤：
リモコンと本製品の間に障害物がある
対策⑤：
障害物をなくすか、避けてお使いください。

原因⑥：
リモコンと本製品の間隔が遠い
対策⑥：
リモコンを本製品に近づけて操作してください。

登録フォルダーに入れたファイルを認識できない

原因①：
ファイル名に 2 バイトコード文字（全角文字）を使用している
対策①：
ファイル名に 2 バイトコード文字が使用されていると正しく表示されない場合があります。正しく表示されない場合は、ファイル名を変更してください。

本製品でパソコンが認識できない

原因①：
LAN ケーブルが接続されていない
対策①：
本製品およびパソコンに LAN ケーブルが接続されているか確認してください (カチッと音がするまで差し込んでください)。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因②：
ケーブルが間違っている（パソコンと直接接続する場合）
対策②：
パソコンと本製品を直接する場合は、クロスケーブルが必要です。クロスケーブルで接続してください。接続した後は、本製品の電源を切った後、再度電源を入れてください。

原因③：
本製品付属ソフトウェアをインストールしていない
対策③：
付属 CD をパソコンにセットし、簡単セットアップから付属ソフトウェアをインストールしてください。

原因④：
PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツールなど）がインストールされている
対策④：
PPPoE 接続ツールをアンインストールしてください。

原因⑤：
ルーターやアクセスポイントが故障している
対策⑤：
どうしてもルーターやアクセスポイントに接続した環境で認識できないときは、「はじめにお読みください」を参照して、パソコンと直接本製品を接続してお使いください。

原因⑥：
IP アドレスが間違っている
対策⑥：
「ルータをお持ちでない方へ」（P.39）を参照して、本製品の IP アドレスとパソコンの IP アドレス「***.***.***.;;;」（「*」や「;」は数字）の ** 部分が同じであることを確認してください。
例えば、本製品の IP アドレスが「192.168.11.51」の場合、パソコンの IP アドレスが「192.168.11.61」などになっていることを確認してください。

原因⑦：
ファイアウォール機能を持つソフトウェアがインストールされている
対策⑦：
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、**TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」** の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトウェアをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイアウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

【トレンドマイクロ社ウイルスバスター 2009 ファイアウォール無効化手順】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。
1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[ウイルスバスター 2009]-[ウイルスバスター 2009 を起動] を選択します。
2. メイン画面左側の［パーソナルファイアウォール］をクリックし、[パーソナルファイアウォール］欄にある [有効] をクリックします。
3. ファイアウォール機能が無効に切り換わったのを確認し、画面右上の [×] をクリックし、メイン画面を終了します。
以上で設定は完了です。

【Norton Internet Security 2009 ファイアウォール無効化手順】
以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。
1.[スタート]-[(すべての) プログラム]-[Norton Internet Security]-[Norton Internet Security] を選択します。
2.「インターネット」欄の [スマートファイアウォール] アイコンをクリックします。
3. ファイアウォールをオフにする期間を、プルダウンメニューから選択し、[OK] をクリックします。
以上で操作は完了です。

【Windows 7 ファイアウォール無効化手順】

※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可する方法を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［システムとセキュリティ］-[Windows ファイアウォール] または [Windows ファイアウォール] をクリックします。
※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。
3.［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.「Windows ファイアウォールを無効にする（推奨されません）」にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows Vista ファイアウォール無効化手順】

※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可する方法を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティ］をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順３へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］の［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4.[ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
5.[Windows ファイアウォールの設定] 画面の [全般] タブの [無効（推奨されません）] にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

【Windows XP SP2(サービスパック 2) ファイアウォール無効化手順】

※ TCP ポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」の使用を許可する方法を推奨します。

以下の手順で Windows ファイアウォールを無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Windows ファイアウォール」を有効にしてください。

1.［スタート］－［コントロールパネル］をクリックし開きます。
2.［セキュリティセンター］をクリックします。
※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティセンター］項目はありません。手順３へ進みます。
3.［Windows ファイアウォール］をクリックします。
4.「無効（推奨されません）」にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で操作は完了です。

映像、音楽、写真を再生できない

原因①：
再生しているファイルの種類、画質、エンコード条件が本製品にあっていない
対策①：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によって本製品で再生できない場合があります。本製品で再生できる形式のファイルを再生してください (P.54)。

原因②：
ファイルが壊れている
対策②：
ファイルが壊れている場合は再生できません。

原因③：
映像と音声がインターリーブされていない
対策③：
インターリーブされていない AVI ファイルは再生できません。AVI ファイル作成時は、インターリーブする設定で作成してください。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

原因④：
著作権保護されたファイルを再生している
対策④：
本製品は著作権保護されたファイルを再生できません。著作権保護されていないファイルを再生してください。

映像が正しく表示されない

原因①：
NTSC 方式以外のテレビ方式で記録された映像を再生している
対策①：
NTSC 方式以外の方式で記録された映像は正常に表示されないことがあります。

原因②：
ビデオ機器を経由させテレビに接続している
対策②：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機器を経由させると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、テレビに直接接続してください。

原因③：
ビデオ機能を搭載したテレビに接続している
対策③：
本製品にはコピープロテクション機能が搭載されており、ビデオ機能を搭載したテレビに接続すると再生映像が乱れる場合があります。再生映像が乱れる場合は、ビデオ機能が搭載されていないテレビと接続してください。

[リピート] ボタンを押しても動作しない

原因①：
設定画面で連続再生を有効にしていない
対策①：
P.38 の連続再生を有効にしていないと、リモコンの[リピート]ボタンを押しても動作しません。

原因②：
サーバーの仕様によっては、リピートできないフォルダーがあることがあります。
対策②：
再生したいファイルを別のフォルダーに移動してお試しください。

再生するとコマ落ち、音飛びする

原因①：
本製品を接続したネットワークで他の機器が通信している
対策①：
本製品の再生中に他の機器で通信を行っていると、ネットワークが混雑しコマ落ちや音飛びすることがあります。コマ落ちや音飛びする場合は、他の機器の通信を終了してから再生してください。

原因②：
11Mbps の無線で接続している
対策②：
11Mbps の無線で接続している場合、3Mbps 以上のファイルを再生するとコマ落ちや音飛びすることがあります。

原因③：
再生したファイルの種類や画質、エンコード条件が本製品とあっていない
対策③：
ファイルの種類や画質、エンコード条件によってコマ落ちや音飛びすることがあります。本製品の条件にあったファイルを再生してください (P.54)。

原因④：
ビットレートが P.54 に記載された値を超えている
対策④：
P.43 に記載のトランスコーダー、または別途エンコードソフトウェアを用意し、ビットレートを小さくしてください。

テレビで見たとき端 (外周部) の映像がカットされている、映像がずれて見える

一般的にテレビは映像信号の外周部を少しカットして表示するオーバースキャン表示方式を使用しています。テレビによってカットする量に差があり、お使いのテレビによっては、映像の端 (外周部) がカットされて見えたり、映像が左右または上下にずれて見えることがあります。

Media Server2 がブロックされて本製品でパソコンを認識できない (Windows 7/Vista/XP)

付属ソフトウェアのインストール後、パソコンを再起動したとき、「このプログラムをブロックし続けますか？」と表示されることがあります。
このようなときは、[ブロックの解除] をクリックしてください。

[後で確認する] をクリックしてしまった場合
Media Server2 を再起動してください。再び「このプログラムをブロックし続けますか ?」と表示されます。[ブロックの解除] をクリックしてください。

[ブロックする] をクリックしてしまった場合
次の手順でファイアウォールの設定を変更してください。

Windows 7
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [システムとセキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可](または [Windows ファイアウォール]-[Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する]) をクリックします。
   ※ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[続行] をクリックします。
3. [許可されたプログラムおよび機能] の中の [BUFFALO MediaServer2] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows Vista
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [セキュリティ] の [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。
4. [Windows ファイアウォールの設定] 画面の [例外] タブの中の [プログラムまたはポート] の中の [mediaserver.exe] にチェックを入れて [OK] をクリックします。

Windows XP
1. [スタート]-[コントロールパネル] をクリックします。
2. [ネットワークとインターネット接続]-[Windows ファイアウォールの設定を変更する] をクリックします (または [Windows ファイアウォール] をダブルクリックします)。
3. [例外] タブをクリックします。
4. [mediaserver.exe] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを表示させます。[OK] をクリックします。

用語集

- **AVI**

  Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です)。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

- **CBR：Constant Bit Rate（固定ビットレート）**

  常に同じビットレート（データ量）でデータを圧縮します。そのため、動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では、ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

- **CQ : Constant Quality（固定品質）**

  映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ圧縮します。

  映像によってビットレートが変動するため、圧縮する映像によって圧縮したファイルの容量が大幅に変わります（動きが多い映像ほど容量が大きくなります)。

- **CVBR：Constrain Variable Bit Rate（可変ビットレート）**

  あらかじめ設定した範囲のビットレート（データ量）で圧縮するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして圧縮を行います。本製品では、（平均）ビットレート、最大ビットレートを指定でき、(平均) ビットレートの値を平均値として圧縮を行います。

- **DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー**

  DHCP サーバーはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルーターの IP アドレス、ドメイン名など) を管理します。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報が割り振られます。DHCP サーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや本製品に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

- **DNS(Domain Name System)**

  コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステムです。

- **IP(Internet protocol) アドレス**

  TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。各コンピューターの住所を示す 整理番号のようなものです。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されません。

- **MPEG**

  Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつかの形式があります。

- **MPEG-2**

  MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

- **WMV**

  Windows Media 形式の映像ファイルです。

- **RSS(Really Simple Syndication)**

  ホームページの更新情報を簡単にまとめ、配信するためのフォーマットの総称です。

- **アスペクト比**

  映像の縦と横の比率です。一般のテレビは 4:3、ワイドテレビは 16:9 になっています。また、通常、パソコンのディスプレイはアスペクト比 4:3 ですが、ディスプレイ、グラフィックボードにより 5:4 やワイド表示も可能です

- **ゲートウェイ**

  ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットが LAN の外に出て行くときに通過します。

- **コーデック（Codec）**

  コーデックとはデータの符号化と復号を行うもので、もともとは通信用語の COder/DECoder を縮めたものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによっては、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

- **サブネットマスク**

  IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用います。

- **ビットレート**

  画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

- **ポッドキャスト**

  Web サーバ上に音声データ・動画データなどをアップロードし、RSS を通してインターネットに公開することです。

仕様

メモ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

有線 LAN インターフェース	
対応規格	IEEE802.3/IEEE802.3u 準拠（10BASE-T/100-BASE-TX）
転送速度	10/100Mbps（オートセンス）
コネクター形状	RJ-45 型 8 極コネクター
外部出力	
HDMI	HDMI コネクター
D 4 ビデオ	MDR14 ピンコネクター
コンポジットビデオ	RCA ピンジャック（黄色）
デジタルオーディオ	光角型
アナログオーディオ	RCA ピンジャック（左：白色　右：赤色）
外部入力	
USB 規格	Universal Serial Bus Revision2.0/1.1
USB コネクター	シリーズ A(前面× 1、背面× 1)
MediaServer2	
対応パソコン	DOS/V 機 (OADG 仕様)
対応 OS	Windows 7(32bit/64bit)、Windows Vista(32bit/64bit)、Windows XP、Windows 2000 Service Pack 4 以降 ※ Windows 2000 Service Pack 4 以降をお使いの場合、WindowsUpdate にて最新の状態にしてください。最新の状態でないと正常に動作しないことがあります。
その他	
使用電源	AC100V　　50/60Hz
最大消費電力 (USB コネクター未使用時)	15W
動作環境	温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 50%（結露なきこと）
外形寸法	210(W) × 55(H) × 215(D) mm（突起物含まず）
重量	約 1.2kg

再生できるファイルの種類

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

対応動画フォーマット形式 (※ 1、2、3)	[MPEG-1] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5.5Mbps [MPEG-2] ・最高解像度 1440x1080 ・対応最高ビットレート 25Mbps ・対応条件 main profile@H14 まで対応 [MPEG-4] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 5Mbps [H.264] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 17Mbps ・対応条件 H.264/AVC main and high profile Level4.1 まで対応 [WMV9] ・最高解像度 1920x1080 ・対応最高ビットレート 8Mbps ・対応条件：WMV HD まで対応 [Xvid] ・最高解像度 720x480 ・対応最高ビットレート 3Mbps
対応音声フォーマット形式 (※ 2、3、4)	[AAC-LC/HE-AAC] ・サンプリングレート：32/44.1/48 kHz ・対応条件：ISO/IEC 13818-7 [MPEG-1Layer 1,2,3(MP3)] ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz ・対応条件：ISO/IEC-11172-3 [Dolby Digital(AC-3)] ・サンプリングレート：48kHz ・対応条件：ATSC-A52/a [WMA](※ 5) ・サンプリングレート：32/44.1/48kHz
対応画像フォーマット形式	jpeg(ベースライン jpeg 対応 / プログレッシブ jpeg 対応)、bmp、png、gif
認識できるファイル拡張子	動画：mpg,mpeg,vob,mp4,wmv,asf,m2t,m2ts,mts,mov, 3gp,3g2,mkv,iso,m2p,ts,vro,avi 音楽：wav,mp3,wma,m4a 写真：jpg,jpeg,png,bmp,gif
接続可能な USB 機器	マスストレージクラスに対応した以下の USB 機器 (※6) ハードディスク、フラッシュメモリー、カードリーダー、デジタルカメラ、 デジタルビデオカメラ

※ 1：本製品を 11Mbps の無線 LAN で接続した場合、または USB1.1 の機器から再生した場合、3Mbps 以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。

※ 2：ファイルによっては再生できない、または音ズレが起きる場合があります。

※ 3：著作権保護されたコンテンツを再生する場合、対応最高ビットレートが低下することがあります。

※ 4：音声が 5.1ch の場合、あらかじめパススルー設定を行っておくことにより、光 (S/PDIF) 出力で 5.1ch 対応の AV アンプに出力することが可能です。HDMI の音声は設定にかかわらず 2ch にダウンサンプリングされます。

※ 5：WMA Lossless のコンテンツ再生には対応しておりません。

※ 6：FAT または FAT32、NTFS でフォーマットされた機器。マスストレージ対応機器。ただし、お使いの USB 機器によっては正常に認識できないことがあります。

ドルビーについて

Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。本製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

LT-H91 シリーズユーザーズマニュアル
2010 年 3 月 19 日　第 5 版発行
発行　　株式会社バッファロー